

Perl製コマンド'samesize (App::samesize)

2023-03-16 thu 下野寿之

同一バイトサイズのファイルを見つけ出すコマンドであり、オプションで、同一内容のファイルを見つけ、必要に応じ除去するコマンドである。

インストール方法

- `cpanm App::samesize`

元に戻す(アンインストールする)には：

`cpanm -U App::samesize`

same sizeは何をするのか？

- 名前通り「同じサイズ」のファイルを見つける。
 - 引数はファイル名と見なす。
 - @ARGVが無いなら、現行ディレクトリ直下を探す。
 - **/*(.) とか **/* で再帰マッチ(その下全部)も可能。
- その派生機能(オプション)として：
 - md5 値も使って、**同一内容のファイル**を探索する。
 - 同一内容のファイルの内、新しい方または古い方を rm (delete) できる(!)。ドライランも可能。
 - 単に、全ファイルのバイトサイズや時刻情報を分かり易くリストアップする目的にも使える。

same size と同じものはないか？

- fdupes : github.com/adrianlopezroche/fdupes
 - Macなら `brew install fdupes` でインストール可能。

samesizeの利点

- Perlなので、20年後も60年後も動く。
 - v5.14 で動作するようにした。
 - 世界中どこでも安心してインストール可能。
- 私が作ったので、安心(?)。
 - GitHubで約100行のコードをすぐ確認可能。

どんな時に便利か？

- 数十～数千個のファイルの整理。
 - ダウンロードしたファイルの重複を消す。
- 重複の無いことの確認：
 - 整理した筈のフォルダに重複が無いことの確認。
 - バックアップをする前の、重複の無いことの確認。
- 人生の問題の2%くらいが解決するであろう(?)
 - いろんなファイルを整理したい時：
 - 確定申告
 - 見当たらぬファイルを探す為、まずファイル整理する時。
 - 自分の癖も把握出来る。
 - どんな場合に、ファイルを重複させてしまうのか？
 - 金銭関係(←仕事の他のファイルとは別管理すべし)。

改良計画：

- さらにコマンドを理解しやすくする。
 - 8個のあるオプションをさらに整理。
 - ロングオプション(--options)を用いる。
 - 消すか消さないかの優先順位を、日時情報でなくて、ファイル名の文字列長で決めるオプションを、作る。
- ヘルプ文面を改良。
 - 英文も載せる。(別コマンドにするかも。)